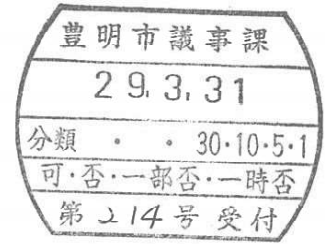


平成 29 年 3 月 3 1 日

豊明市議会議長 殿

研修会・講演会等参加報告書



議員名 ふじえ 真理子 

平成 28 年度豊明市議会政務活動費にて下記の研修に参加しましたので報告します。

日 付	研修先	研修項目及び成果等
平成 29 年 3 月 2 5 日	都市センターホテル (東京都千代田区)	地方議会議員フォーラム 2017 議会改革の第二ステージ ～議会から政策サイクルを回す～

(注) 別紙添付も可能とします。  
(注) 本報告書は 5 年間公開します。

## 地方議会議員フォーラム 2017 報告書

豊明市議会議員  
会派 新風とよあけ  
ふじえ真理子

### <参加した目的>

理想の議会像と現実の議会、議会に関心をもつ市民とそうでない市民へのアプローチの仕方、「地方分権」から「地方創生」に変わる時代に必要なこと、これからの「議会」に求められる役割を学び、自分なりに整理したいと思ったから。議会改革の第二ステージで問われてくる議員の資質、豊明市議会の現在の立ち位置を知り、議会としてのレベルアップ（市民福祉の向上）に貢献できる議員を目指したいため、参加した。

### <学んだこと・感想など>

『地方創生時代は、地方議会が地方を変え、地方が国を変える』…北川正恭氏の言葉

- ・民意を反映する議会全体としての活動が求められる。そのためには議会として市民からの“信頼”を得ていることが前提。低投票率にみる多くの無関心の市民から信頼を得るために成すべきこと…という視点にたち、現在進行形の議会改革推進協議会に臨む姿勢を振り返る機会となった。
  - ・議会の「監視機能」と「政策立案機能」。これからの議会に大事なことは、政策“提案”だけでなく政策のPDCAサイクル全体に議会として関わるという視点。江藤氏の言葉を借りれば「地域経営はPDDCA」（1つ目のDは討議、2つ目のDは決定）。
- ☆議員個人ではなく議会全体として先進的に取り組んでいる5つの市議会からの事例紹介があった。一堂にこうして全国の事例紹介を聴けることは大変有意義であった。

**可児市議会** 熟議型議会こそが住民投票では代替できない議会の機能である

議会運営サイクル…前期からの提言（引き継ぎ事項）を受け連続性が担保されている

予算決算審査サイクル…予算：重点事業説明シートを活用した説明・予算質疑・討論採決

決算：重点事業点検報告書を活用した決算説明・決算質疑・常任所管単位分科会で提言案検討・議会報告会や地域課題懇談会の意見を反映→討論採決 提言まとめ→全会一致のものだけ市長へ通知（本会議場） …議会としての重み

政策サイクル…年2回議会報告会（春・秋）、地域課題懇談会（随時）、各種団体との懇談

会（随時）→市民意見の集約→各委員会所管事務調査→一般質問等で生かす

若い世代との交流サイクル…学校・縁塾（議会発NPO）等との協働で高校生議会（議会主

催のキャリア教育支援）やママさん議会、模擬投票などあらゆる場づくり

※若い世代と大人が関わり、広く聴く仕組みを条例化する動きもある

※議会の力が地域の未来を創る

**大津市議会** 「未来を語る議会であるために」任期4年間のミッションロードマップ

◎チーム議会の必要条件

合意形成力…会派を越えた議員間討議ができる文化醸成

議員と事務局職員との協働体制の構築

妥協力 …「妥協」は少数会派の勝利

◎大学とのパートナーシップ協定の締結 → 龍谷大学・立命館大学・同志社大学  
議員研修会のみならず、インターンシップ受け入れや議会BCP、条例制定助言など、専門家の知恵をうまく活用している

◎ミッションロードマップの目的は3つ

- ①議会基本条例の具現化②議会活動に対する市民への説明責任③市議会の見える化  
→進行管理については、議会運営委員会で検証・評価する  
年度末ごとに自己評価、次年度テーマ、工程の確認  
最終年度（4年目）は外部評価を導入して検証・評価

**会津若松市議会** 決算の前に審査準備を念入りに実施

…行政評価を利用し、市民意見交換会で出たものなども含め論点づくり

…決算本番では要望や決議を当局へ出す→事前準備しないと追認になってしまう。

大学の先生を招いて勉強会（事業の裏付けや国の動きも学ぶ）。議員間討議を実施。

飯田市へ行き地域自治の在り方について調査。

通年的発想（4年間）で政策全体サイクルに取り組む。

**西脇市議会** 以前は定例会ごとで連続性がなくブツ切り。議会報告会はただの結果報告

予算決算サイクル☆当局からの予算説明会は1日かけて行う。審査は3日間。

議員間討議では、どこをどのように注目しているかを出し合

い、背景等を全議員で共有することでブラッシュアップさせてい

る →○○事業は何ですか？的質疑はなくなった。

☆委員間討議は2/3の議決 …控え室で理事者が聞いている

仮に2/3なくても過半数越えていたら予算に入った事例も

☆6月議会→9月決算までの間で行政評価（H29以降実施）

政策サイクル☆担当課ヒアリングは随時、委員会として団体との会議も。

議会報告会（5月・11月）はワークショップ形式、20会場で年40

回実施。オフォーがあるところはプラスして出向いてやっていく。

☆1年ではできないこと→次の任期に繰り越すかも→通年期の感覚になってきた

3つの高校でも報告会実施（夏休み） 普通科・工業科・定時制でスタイルは様々  
条例制定の実績は1本あり（地域医療を守る条例）

### < 条例制定のフロー >

常任委員会で素案作成→政策討論会（執行機関との調整）→常任委員会で原案作成→住民意見の反映（パブコメ・公聴会・一般会議・議会報告会）→政策討論会（執行機関との調整）→常任委員会で最終案作成→委員会提出議案として上程

### **那覇市議会** 議場に親子傍聴席がある

議会改革推進会議は3つの部会あり

- 1) 議会改革部会…議会全般にわたる改革事項の具体的運用を検討提案  
例：政務活動費の手引き作成 タブレット導入
- 2) 広報参画部会…議会報告会等の企画運営、広報全般、市民参画の在り方検討提案
- 3) 政策検討部会…政策提案・政策提言の仕組みを研究検討提案

議員提案条例：「めんそーれ那覇市観光振興条例」H27年3月制定

※課題は、つくりっぱなしで政策サイクルモデルにはなっていない点だという

H29年2月那覇市議会議員研修会で江藤教授を招いた

研修成果と今後の動向としては「議会改革の目的は住民福祉の向上である」「まずはできるところからサイクルをつくろう」「第5次総合計画を全議員で積極的に審議しよう」

### < 学んだことをどう生かしていくか >

先頭を走る議会の取り組みは、人望を集める議員がリーダーシップを発揮し高いアンテナを張ってフル活動している。また議会事務局との協働体制（意識）も大きな要素であると思った。一気に変えることはできない。議会として行政と対等に政策立案していくサイクル（仕組み）づくりが必要であるという認識を、全議員で情報共有する場が必要。そういう意味でも、進行中の定数・報酬検討特別委員会の中で、講師を招いて市民と一緒に「議会に求められる役割・求められる議員の質」について考える機会を設けられたらと思う。その際、講師には江藤教授が最適だと感じた。

近い将来、豊明市議会が先進的取り組みの事例紹介として、いろいろな場面で豊明市議の誰かが発表する姿を描く。残り2年の任期だが、党派会派を越えた「議会」としての文化土壌づくりの時期と考えている。議会として連続性をもち、来期メンバーの議会に引き継いでいけるものを残していきたいとあらためて強く思った。冒頭に書いた北川氏の言葉「地方議会が地方を変え、地方が国を変える」を思う。豊明市議会が地方を変え、国を変える、そんな使命感とともに微力ながら尽力していきたい。

# 地方議会議員フォーラム 2017

## 議会改革の第二ステージ

### ～議会から政策サイクルを回す～

1. 日時：2017年 3月25日(土) 13:00～17:00

2. 会場：都市センターホテル 6F 606

3. プログラム：

13:00～13:25 【基調講演】

「地方議会と地域経営の視座」

早稲田大学名誉教授・早稲田大学マニフェスト研究所顧問 北川 正恭 氏

13:25～13:35 【問題提起】

「議会から政策サイクルを回す」

山梨学院大学 法学部教授 江藤 俊昭 氏

13:35～15:55 【事例紹介】「議会の政策サイクル」

(進行：山梨学院大学 法学部教授 江藤 俊昭 氏)

13:35 「市民の意見聴取による4つの政策サイクル」

可児市議会 議会改革特別委員長 川上 文浩 氏

14:05 「“未来を語る議会”であるために～大津市議会ミッションロードマップの挑戦～」

大津市議会局 議会総務課長 清水 克士 氏

14:35～14:45 【休憩】

14:45 「議会基本条例と政策サイクル 会津若松市議会の挑戦」

会津若松市議会 議会運営委員会委員長 松崎 新 氏

15:25 「つながる議会へー議会をリノベーション！」

西脇市議会 議会運営委員会委員長 林 晴信 氏

15:40 「那覇市議会の政策サイクル～“はじめの一步”までの道～」

那覇市議会 議会改革推進会議座長補佐 前泊 美紀 氏

15:55～16:10 【休憩】

16:10～16:50 【パネル討議】「住民福祉の向上と議会の政策サイクル」

(パネリスト)地方議会における政策サイクルと評価モデル研究会メンバー

(進行) 山梨学院大学 法学部教授 江藤 俊昭 氏

16:50～17:00 【本日の総括】「議会改革の第二ステージにおける課題と展望」